

学びのドリームプラン 海田東小学校

第4学年 音楽科

単元名：旋律から お囃子へ
「日本の音楽に親しもう」

指導者 山根 絢未

児童の願い

旋律をつなげてお囃子をつかって表現してみたい。



ゴール

2小節の旋律をつくり、グループや学級で組み合わせてお囃子にし、お昼の放送で発表する。

本単元で付けたい力

- 日本の音楽の特徴や音楽の仕組みを手掛かりとして、思いや意図をもって5音音階の旋律をつくったりつなげたりすることができる。 【A表現(3)イ】
- 日本の音楽の雰囲気や特徴を感じながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむことができる。 【B鑑賞(1)ア】

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> 感じ取ったことや聴き取ったことを進んで言葉や体の動きで表そうとしている。 思いや意図をもち、旋律やお囃子をつくることに意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じ取ったことや聴き取ったことを進んで言葉に表わそうとしている。 旋律やお囃子をつくることに意欲的に取り組もうとしている。
【思考力】	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞曲の音楽を特徴付けている要素(旋律の動き、拍の流れ、リズム)や音楽の仕組み(問いと答え、反復、変化)を比較し、日本の音楽の特徴をとらえ、旋律やお囃子づくりに生かせることを考えている。 旋律の動きとリズムを関連付けながら、思いや意図をもって旋律をつくったりつなげ方を考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞曲の音楽を特徴付けている要素(旋律の動き、拍の流れ、リズム)や音楽の仕組み(問いと答え、反復、変化)を比較し、日本の音楽の特徴をとらえている。 旋律の動きとリズムを関連付けながら、旋律をつくっている。
【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> 自分がつくった旋律、グループでつくったお囃子のよさやお囃子をつくる面白さに気づき、その後も旋律づくりをしたり、5音音階の曲を見付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がつくった旋律、グループでつくったお囃子のよさやお囃子をつくる面白さに気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程(全9時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力
<p>課題の設定(1)</p> <p>○第3学年の学習を想起し、お囃子をつくりたいという意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3学年で鑑賞した海田町郷土の音楽「熊野神宮祭獅子舞」を聴き、日本の音楽にはどのような秘密があったのかを振り返る。 既習の3つの音での旋律づくりを再度体験し、その学びを生かして4年生ではどんなことができるのかを考える。 旋律をつなげてお囃子をつくり校内放送で流して全校児童に聞いてもらうという学習課題を設定する。 ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。 	主体性

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>情報の収集・整理・分析（３）</p> <p>○民謡を２曲鑑賞し、日本の音楽の特徴を見付ける。 ・北海道民謡「ソーラン節」、岩手県民謡「南部牛追い歌」を聴き、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを比較する。 ・旋律を歌ったり手拍子をしたりして、楽曲の違いを感じ取る。</p>	思考力
<p>○富山県民謡「こきりこ」や既習の音楽を聴いたり表現したりすることを通して、５音階が日本の音楽独特の雰囲気醸し出していることを知る。 ・「こきりこ」を前時に学習した民謡と比較しながら、音楽の特徴や音楽の仕組みをとらえるとともに、階名で旋律を歌い、５つの音でつくられていることに気付く。 ・既習の５音階でできている音楽（「日の丸」「ソーラン節」「茶摘み」と５音階ではない音楽（「山のポルカ」「ドレミの歌」「子どもの世界」）を各グループ１曲ずつ分析し、歌ったり表現したりして交流し、５音階が日本の音楽独特の曲想を醸し出していることを実感する。</p>	思考力
<p>○「こきりこ」にリズム伴奏をつけて、リズム伴奏もお囃子の重要な要素であると知る。 ・３つのリズム伴奏から、１つを選び、楽器の組み合わせも考える。 ・グループごとに歌とリズム伴奏を合わせて演奏し、リズムや楽器の音色の違いにより曲の雰囲気が変わること気付く。</p>	思考力
<p>創造（３）</p> <p>○４種類の音符を組み合わせて、旋律のリズムをつくる。 ・ミュージックボード上に、４種類の音符を組み合わせて、旋律のリズムをつくる。 ・つくったリズムを口ずさんだり手拍子をしたりして正確なリズムをつかむ。</p>	主体性
<p>○つくったリズムに音をつけて旋律をつくり、小グループで旋律をつなげて演奏をする。 ・ミュージックボード上に５音階の２小節の旋律をつくり、小グループで旋律をつなげて演奏し、日本の音楽の曲想に親しむ。 ・つくった旋律を５線譜に記譜する。 【本時】</p>	思考力
<p>○つくった旋律をグループでつなげて、お囃子をつくる。 ・旋律のつなげ方を考えて一つの旋律にし、その旋律に合うリズム伴奏を選んだり、かけ声や合いの手を考えたりしてお囃子をつくる。</p>	思考力
<p>表現（１）</p> <p>○グループでつくったお囃子をさらに他のグループとつなげてお囃子をつくり演奏する。 ・グループでつくったお囃子のつなげ方を考え、演奏できるように練習する。 ・つくったお囃子を演奏し、よさや面白さを交流する。</p>	主体性
<p>実行</p> <p>○お昼の放送で、学級でつくったお囃子を流す。</p>	
<p>振り返り（１）</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。 ・つくったお囃子を再度聴き、日本の音楽を聴いたり、お囃子をつくったりする面白さに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でつくった旋律とつくったお囃子を基に自らの学びを振り返る。</p>	自己理解